

愛知県吹奏楽連盟 理事長挨拶

2019年度は5月1日から新元号「令和」となり、平成から令和へと変わる歴史的な年となりました。この新しい時代に、新たな吹奏楽活動が全県で繰り広げられることを大いに期待しています。

しかし、学校での吹奏楽活動を取り巻く環境は、確実に困難な方向に進んでいます。昨年度末には、文化庁から「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が通知され、県内では教育委員会主導で中学校・高等学校の部活動の時間を削減する動きが顕著かつ確実に進んでいます。また、小学校の部活動も縮小・廃止の動きが加速しています。

このような現状の中、私たちはガイドライン策定の意味するものを真摯に受け止め、これまでの学校現場での吹奏楽指導を見つめ直し、その在り方を再検討する必要があります。各団体では「短時間で効果的な指導」を、連盟としては「新しい組織の在り方」や「吹奏楽事業の見直し」が求められています。

私たち愛知県吹奏楽連盟では、それぞれの部門連盟が連携して、これからの吹奏楽活動の在り方を検討し、それぞれの学校・団体に

とらわれず、新しい吹奏楽の形を推進していく責務をひしひしと感じています。柔軟な考え方で、これまでのやり方にとらわれない吹奏楽活動を県内各地区で展開していくよう、努力いたす所存です。

また、全日本吹奏楽連盟の掲げる『響け、復興のハーモニー』のローガンの下に、引き続き東日本の吹奏楽活動の復興支援に尽力してまいります。さらに、2016年4月に甚大な被害を被られた熊本県や、昨年度発生した西日本豪雨に被災された地域にも、できる限りの支援をさせていただく所存でございます。

さて、愛知県吹奏楽連盟は『吹奏楽による音楽普及向上を図り、文化の発展に寄与すること』を目的として、1960年（昭和35年）に39団体にて発足いたしました。創立以来59年が過ぎ、2019年度（5月1日現在）は、小学生20団体、中学校297団体、高等学校174団体、大学(13)・職場(5)・一般(50)の部68団体、総合計559団体という全国有数の加盟団体数となりました。

※ 今年度より小学校の部を小学生の部と改称いたしました。

組織運営としましては、非常に大きな組織であるため、小・中学校部門、高等学校部門、大学・職場・一般部門の三つの部門連盟に分けて活動しております。さらに、小・中学校部門と高等学校部門

は県内を七つの支部（東三河，西三河北，西三河南，名古屋，知多，東尾張，西尾張）に分け，三部門それぞれが各部門理事長を中心として，活気に満ちた運営を行っています。この組織については，新しい時代の流れを受けて，今後検討が必要であると考えています。

主要な活動について，私どもは全日本吹奏楽連盟の構成員であり，中部日本吹奏楽連盟の構成員でもありますから，県内の参加団体が両連盟の主催するコンクール・コンテストに出場できるように業務を遂行しています。その両連盟の全国大会・本大会への予選としての吹奏楽コンクール，アンサンブルコンテスト，小学校バンドフェスティバル，マーチング大会，個人・重奏コンテストの5種類の大会を，県連盟の主催事業として実施しています。今後，これらの事業の在り方についても検討する必要を感じています。

大会以外の事業としては，地域と連携した事業として6月に開催される「有松絞り祭り吹奏楽イベント」，久屋大通発展会等との連携事業として11月に名古屋市久屋大通公園で開催される「栄まちじゅう音楽広場」，名古屋市栄のオアシス21で開催される「大学職場一般吹奏楽フェスティバル」，名古屋市・マーチング協会・バト

ン協会との連携事業として3月に開催される「ナゴヤマーチング&バトンウェーブ」などを実施しています。この他にも、県内各地で開催されているさまざまな吹奏楽コンサートなど、これらのいずれもが吹奏楽ならではの「聴いて楽しく、見て楽しい企画」として高い評価をいただいています。今後も吹奏楽のもつ庶民性と力強さを生かし、行政や商工会などとのタイアップを大切にしながら地域のイベントにも積極的に関わっていきたいと思っております。地域に根差した活動の工夫と実践が、新たな吹奏楽活動につながると感じています。

かつて、先輩諸氏は国や愛知県、名古屋市が主催する国家的事業である「インターハイ」や「わかしゃち国体」「ゆうあいピック」「ねんりんピック」などの式典演奏に総力を挙げて取り組んでこられました。そして、そのいずれにおいても輝かしい威光を示して来られました。現在は、2019年6月2日に開催されます「第70回全国植樹祭」の開会式等の式典で演奏させていただくべく、愛知県当局と協力して準備を進めています。

2010年（平成22年）には愛知県吹奏楽連盟創立50周年事業を行い、記念式典ともにナゴヤドームにて10,000人規模の大演奏会を

開催しました。また、2015年（平成27年）には同じくナゴヤドームにて、演奏者5,000人による「動くコンサート」を実施しました。どちらのコンサートも、多くの県民の皆様や参加者の皆さんから、熱い称賛の言葉をいただきました。そして、2020年（令和2年）には愛知県吹奏楽連盟が創立60年を迎えるため、次のように創立60周年記念事業を予定しております。

<記念式典および祝賀会>

2020年4月25日（土） 名古屋クラウンホテル

<記念演奏会> 『1万人の吹奏楽フェスティバル in 愛知』

【パートⅠ】「東京佼成ウインドオーケストラ名古屋公演・課題曲講習会」

2020年5月30・31日（土・日） 名古屋国際会議場

【パートⅡ】「県内トップバンドと全国大会常連校による演奏会」

2020年8月29・30日（土・日） 名古屋国際会議場

さらに「動くコンサート」を、2021年2月11日（祝）に名古屋国際会議場で開催いたします。これらの創立60周年事業が有意義な取組となるように、今年度1年間かけてしっかりと準備してまいります。

吹奏楽指導者の人材育成活動としましては、毎年11月に「吹奏

楽セミナー」を1泊2日で実施しています。これは、全国レベルの実績をもつ指導者の貴重な知恵と経験を、県内吹奏楽指導者の共通の財産として生かそうという勉強会です。さらに、経験の浅い指導者に対しては、第一線を退かれた県内のベテラン指導者が現場に向いて実際に指導と助言をする「吹奏楽指導者支援事業」を行っており、今年度も多くの加盟校の先生方からの応募を頂き、大変好評です。この吹奏楽指導者支援事業を「これからの吹奏楽指導の在り方」の一環としてさらに充実させていきたいと考えております。

発足59年目を迎えた愛知県吹奏楽連盟は、小・中学校部門、高校部門、大学・職場・一般部門の三つの部門連盟を縦軸、マーチング委員会、イベント委員会、セミナー委員会、行事担当委員会、全国大会実行運営局、事務局と会計局を横軸として、縦軸と横軸が有機的に関わりあいながら活力ある活動を行ってきました。今後はさらに、この縦軸と横軸の関わりに指導者の年齢を超えた奥行きを加え、立体的で充実した吹奏楽活動を展開していきます。そして、これらの愛知県吹奏楽連盟の取組を多くの方々に理解していただくために、ホームページによる情報発信や、さまざまなメディアでの情宣にも力を入れていきたいと思っております。

また、全日本吹奏楽コンクール（中学校の部・高等学校の部）については、2022年まで名古屋国際会議場センチュリーホールで開催されることがすでに決まっておりますので、これまで同様全力で運営に携わってまいります。

最後になりますが、当連盟が発足以来58年の間にここまで成長できましたことは、まずは各加盟団体構成員と指導者の熱意によるものであり、そのことに深く感謝いたします。同時に、これほどの規模に達するまで支え続けた役員・先輩諸氏のご努力に、心より敬意を表したいと思えます。さらに、関連して支援していただいた関係者全ての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後も、多様な時代の動きをいち早く敏感に感じ取り、これからの吹奏楽活動をどのように展開していくべきかを常に考えながら、各種の活動を推進していきます。

愛知県吹奏楽連盟の更なる充実・発展のため、今後も皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。2019年度の挨拶といたします。

愛知県吹奏楽連盟第11代理事長 齋藤 和憲